

コラム 2024 年に取組を開始した事例

地域を守る！

▶普及啓発・人材育成

レジリエンス教育を行う

005

自分のまちを舞台に学ぶ、 デジタル防災・防犯教育サービス 「デジ防マップ」

取組主体

RainTech（レインテック）株式会社

従業員数

想定災害

実施地域

8 人

全般

全国

地域の子どもたちが「デジ防マップ」を通して、自分のまちのリスクや魅力を発見し、防災や防犯について考え学ぶ機会を提供している。デジタル技術を活用した防災教育により、子どもたちの防災意識の向上を図るとともに、地域への愛着心を育んでいる。

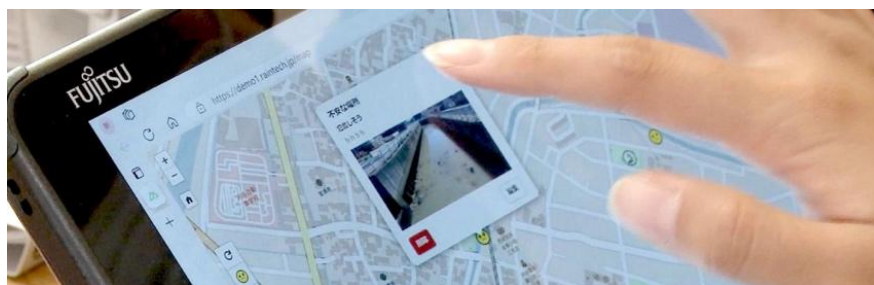
1 取組の概要

災害による突然の悲しみをなくす

- ・「災害による突然の悲しみをなくす」をミッションに掲げ、デジタル技術を活用したソリューションによる防災・気象テック事業に取り組む RainTech 株式会社は、子どもたちへの防災・防犯教育をテクノロジーで支える取組を行っている。同社が開発したオンライン上で簡単に作成できるデジタル防災・防犯マップ「デジ防マップ」を活用し、2024 年 4 月から 6 月に愛知県刈谷市の刈谷市立依佐美中学校の 1 年生 239 人に対してデジタル防災授業を実施した。

自分のまちを舞台にしたデジタルを活用した防災教育

- ・「デジ防マップ」は、デジタル地図上に危険箇所を記録してオリジナルの防災マップを作成できるインターネットサービスである。生徒たちはタブレット上で危険箇所を入力し、写真や文章で情報を更新・閲覧できる。同じ学校内の生徒であれば、情報を共有することも可能である。
- ・この取組は、単に「デジ防マップ」を生徒に作成してもらうだけでなく、5 つのステップから成るカリキュラムとして提供している。①講義：防災の専門家による講話、②情報収集：インターネットで自分のまちの防災情報を調査、③まち歩き：実際に地域を歩いて危険箇所を調査、④発表共有：調査結果を発表・共有、⑤継続投稿：マップを更新し自主的に継続。このようにデジタル技術を活用し、頭と体の両方を使って防災意識を向上させるとともに、活動を一過性で終わらせない仕組みを実現している。



デジ防マップ



専門家による講話



まち歩き



発表共有

2 取組のきっかけと想い

- ・ 同社代表は製造業において、IoT や AI を活用した業務 DX を 10 年以上推進していたが、隣県である静岡県で 2021 年に発生した熱海市伊豆山土石流をきっかけに、「災害に対して自分にできることはないか」と検討を始めた。その結果、最新のテクノロジーを防災に応用できると考え、2022 年に同社を設立した。テクノロジーを防災に活用する

国土強靱化

ためには、まずはデジタルに慣れ親しんだ子どもたちへの防災教育が重要と考え、「デジ防マップ」を開発した。また、学校現場のマンネリ化した防災教育を変えたいという教員の声を受け、デジタル活用と防災教育を組み合わせることで教員の困りごとを解決することを目指した。

3 取組の特徴（差別化した点、地域特性などで工夫した点等）

専門家による講義と体験型防災教育

- ・「デジ防マップ」を活用した防災教育は、地域の大学教授や NPO 代表による講義からスタートする。地域の特徴を理解した防災の専門家などが、地域の災害や防災について紹介することで、汎用的な防災知識だけでなく、自分たちの地域に必要な防災意識を高めることを目指している。その後は「デジ防マップ」を使った探究学習に移行し、生徒自身が自分のまちを探索しながら防災について学ぶ。

教員との連携

- ・この取組は、「デジ防マップ」アプリと学習カリキュラムを提供し、教員が授業内で活用する形式で行われるため、教員との連携が不可欠であった。そこで、総合学習を担当する教員とコミュニケーションを取りながら、その教員が主体的に「デジ防マップ」を活用した学習を検討できるよう、学習計画作成時から同社が支援した。具体的には、学習計画の立案に向けたアドバイス、専門家のアサイン、教員や生徒へのアプリケーション操作説明を行った。その結果、依佐美中学校の校長や刈谷市役所の協力のもと、2024 年 4 月から 6 月の 2 か月間という短い期間で総合学習におけるカリキュラムを準備することができた。

4 取組の効果

防災意識の向上

- ・2024 年 4 月から 6 月にかけて「デジ防マップ」を使った授業を行い、参加者にアンケートを実施した結果、87%の生徒が、防災への意識が「とても高まった」「高まった」と回答しており、防災意識が向上したことがうかがえる。また、75%の生徒が、自分のまちをより良くしたいという意識が「とても芽生えた」「芽生えた」と回答しており、地域への愛着心の向上も確認された。

周囲の声

- ・「自分たちが作ったデジ防マップを地域の人たちにも活用してもらい、安全に暮らしてほしいと思うようになった」（防災学習に参加した生徒）
- ・「大雨の翌日、生徒が『帰り道に危ない所がないか探してきた』と言っており、防災意識が高まっていると感じる」（防災学習に関わった教員）

担当者の声

- ・地震や異常気象による水害が増加し、日本のどこにいても自然災害に遭遇する時代となりました。かつてないスピードで変化が起こる中、大切な人や物を守るためにデジタルを活用した防災力が必要不可欠です。しかし、非日常の防災にデジタルを取り入れるのは容易ではありません。一方で、小学校から繰り返し行ってきた避難訓練で身に付けた防災の知識や行動は、大人になっても根付いています。非日常な防災だからこそ、日常的な学校教育における学びが重要だと感じています。
- ・特にデジタル防災という新しい取組と子どもたちの柔軟な適応力は相性が良く、本取組を通じて、子どもたちが主役となり地域を支える大きな可能性を感じています。今後も「デジ防マップ」を通じて、未来をつくる子どもたちが必要な力を身に付けるサポートを続けていきます。

問合せ先

RainTech 株式会社 法人番号：5180001150887
電話番号：090-7169-3193
E-Mail：company@raintech.jp URL：https://raintech.jp/

動画



サイト URL

